

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	平成27年度 第1回河内長野市生活安全推進協議会
2 開催日時	平成27年5月20日(水) 午前10時から
3 開催場所	市役所3階 301会議室
4 会議の概要	① 平成27年度生活安全関連の取組について ② 河内長野市の犯罪発生状況について ③ 避難行動要支援者制度について ④ 通学路の安全対策について ⑤ 第10回安全・安心まちづくり市民大会について ⑥ その他
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	0人
7 問い合わせ先	(担当課名) 市民生活部 自治振興課 (内線 297)
8 その他	

\*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

## 平成27年度 第1回河内長野市生活安全推進協議会 議事録

日 時 平成27年5月20日(水)

午前10時から

場 所 河内長野市役所 301会議室

### 1. 開 会

### 2. 市長挨拶

### 3. 委嘱状交付

人事異動等に伴い、市長より、河内長野市市民生活部長 扇田 宗彦 氏へ委嘱状を交付。

### 4. 案 件

#### ①平成27年度生活安全関連の取組

事務局から資料に基づき説明

- ・防犯、防災、防火、交通安全、青少年育成、福祉、人権、消費生活の分野ごとに、平成27年度に各関係課・団体が実施する生活安全関連の主要施策について、目的や事業内容を説明。

→質疑応答

(委員) 案件1資料1ページ1.防犯②自主防犯活動推進事業に対する助成でH26年度申請団体7団体とH26年度申請団体8団体とありますが、上の方は27年度の記述の誤りではないですか？

(事務局) 上段の方は「自主防犯活動推進事業助成金」の7団体の申請で、下段の方は、「防犯カメラ設置補助金」の8団体の申請ですので、どちらも実数で誤りではありません。次回は、記入方法を工夫します。

(委員) 各施策の団体に対する市からの予算は、おしなべて5%や10%のカットとなっていますか。

(会長) いえ、資料をみていただいたらお分かりのとおり、おしなべてという訳ではありません。団体には工夫をお願いし、10%の減額をいただいているところもありますし、新たに財源の必要となったものもあります。

(委員) みなさん、よく地域、地域ということをおっしゃりますが、地域の基本は自治会で、行政からの依頼で動くことが多く、自治会は非常に疲弊している。今回の中でもありますが、例えば、自治会管理の防犯灯を5年でLED化していく

ということですが、これは、地域への支援として効果のある施策だと思います。隣の大阪狭山では全灯市で管理していると聞いています。財政事情もあると思いますが、地域を支援する意味でも、是非とも5年といわず、3年に短縮してもらいたい。地域の根幹をなすのは、自治会だと思いますので、元気づけていく、支援していく施策が必要であると思いますので、是非とも支援をお願いしたい。(会長) 財政難ということで、非常につらい面もあり、職員に協力いただき、職員の給与もカットして、切り詰めていることをご理解いただきたい。ご意見としてお伺いしておきます。

## ②河内長野市の犯罪発生状況

河内長野警察署生活安全課 北野係長より説明

- ・過去に大阪名物とまで揶揄されたひったくりは、当警察署管内では、防犯協議会様、事業場防犯協会様をはじめ自治体、防犯に関係する団体の皆様の協力のもと、平成11年中56件と最多でありましたが、ついに平成26年ひったくりゼロを達成しました。そして、本日現在もその記録を更新しています。
- ・去年は、前年と比べ車上ねらい、自転車盗が増加している状況です。
- ・最近発生した事件、手口について説明。  
郵便局での強盗致傷事件の概要を説明。  
一戸建て住宅の勝手口のスライド式ドアから侵入する手口の紹介と防犯カメラ映像から判明した犯人の服装の説明。  
特殊詐欺（海外リゾートホテル会員権）の事例紹介と逮捕に至った経過説明。

→質疑応答

(委員) 毎年、街頭犯罪の7手口数値の資料があったと思いますが、今年はないのですか。中学生の指導に参考にさせていただいているので、資料提供いただきたい。

(北野係長) 今後の会議の中で、資料をつけさせていただきたいと思います。

## ③災害時における避難行動要支援者制度について

浦課長より資料に基づき説明

- ・避難行動要支援者制度の概要及び避難行動要支援者名簿の登録、提供の状況を説明。今後の課題として定期的な

→質疑応答

(委員) 対象者の要件1~6で、要件を絞られており、そのなかで障がいの程度を限定されているが、障がいには、個人差があり、困っておられる状況は手帳の判

定等級だけでなく、個人差があります。実情にあった対応をしてもらいたい。対象者7番についても従来の手上げ方式の方を対象としているとの記述ですが、要件1~6以外でも困られる方は多くいると思いますので、対象を増やしてほしい。(浦課長) 要件1~6に該当しなくても、困っておられる方の情報は、関係課でも把握していると思いますので、啓発する機会がありましたら機会を見て啓発していきたいです。

(委員) 名簿を地域で活かしていくのか。誰が主導権を握ってすすめていくのが大切。やはり、地域の核となるのは自治会だと思います。名簿の更新は大変な労力と経費がいる。名簿は生きたものでないといけない。

(浦課長) まだ、名簿をお渡しできた段階です。後は、自治会様などと相談させていただきながら、要支援者これから私たちも入らせてもらって進めていきます。

(委員) 民生委員として個別に伝書箱を配布している。毎日のように訪問しているお宅もある。高齢者の方だから名簿を既に出しているが、出した覚えがないと忘れていた方もいます。

(委員) 等級とかによって決めていくというのは、家庭によっても違うと思います。私の住む地区でも自治会が中心となってやっている。先進的な好事例を危機管理課で情報を集約し、紹介してほしい。

(会長) 更新をしていくことはとても重要。情報交換をしながら進めていきたいと思えます。

#### ④通学路の安全対策について

危険個所の緊急点検で60箇所の指摘を受け56箇所の改善を終了し、平成27年度中に残り6カ所の改善をしたいと取り組んでいる。刻一刻と変化する状況に対応するため、プログラムを作成し、対応している。

(辻課長) 通学路の防犯カメラの設置予定について質問。

(委員) (河内長野では) 全体的な見方で、設置するかどうかを判断しているので通学路に限定して設置する予定はない。そして、河内長野の子どもたち、学校の状況として、ひどく荒れている状況ではなく、子どもたちを監視しなければならないという程ではないので、設置することは考えていない。

(辻課長) 学校の内部を写すということではなく、学校周辺に設置するというは、どうですか。

(署長) 先般、ノバティなどでも、事件が発生している。抑止効果という意味で設置を検討してほしい。

(委員) 先般、委員の住む地域でも残土の土砂崩落の危険があり、富田林土木事務

所と話し合いをもった。危険個所については、土砂崩落の監視の防犯カメラを設置してほしい。設置予算について、教育予算で困難であれば、市長部局の予算で是非つけてほしい。市では、自治会が設置する場合、補助するとは聞いているが、必要な物は、公費で設置してほしい。

警察が防犯カメラのデータがほしいというのであれば、警察で予算を計上し、設置してほしい。なんでも地域に持ってこられても、自治会が疲弊し、補助が削られている中、苦しい。

(会長) 教育予算でないとするば、市長部局に予算が必要となります。ご意見として伺っておきます

(委員) ガードレールのない危険なところがあります。危険なところを点検してほしい。

(会長) ご意見として伺っておきます。

#### ④第10回安全・安心まちづくり市民大会

事務局から資料に基づき説明。鳥山課長補佐から、基調講演について詳細を説明。

- ・開催日時 平成27年11月29日(日) 午前10時～12時
- ・場所 市民交流センター(キックス)4階イベントホール
- ・主催 河内長野市生活安全推進協議会

→特に質疑はなく、了承された。

#### ⑤その他

(委員) 自転車の無灯火走行で危険なことがあった。警察でも徹底した指導をしてもらいたい。

(委員) 死亡事故の四分の1は、自転車関係の事故です。交通安全の教室でも啓発をします。

(委員) 案件3に関して、関係する団体として、障がい者の団体、親の会、支援学級、支援学校などを対象に啓発してください。

(委員) 平和展の紹介があった。

以上